

を格の漢語動名詞と動詞「もたらす」の語結合を述部とする文について  
—ヴォイス性の観点から—

On Sentences with a Predicate Composed of Word-Combinations of  
Sino-Japanese Verbal Nouns with Case-marker “wo” and “motarasu”  
in Japanese: From the Viewpoint of Voice

王 丹 彤  
WANG Dantong

岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要  
第53号 2022年3月 抜刷  
Journal of Humanities and Social Sciences  
Okayama University Vol.53 2022

を格の漢語動名詞と動詞「もたらす」の語結合を  
述部とする文について  
—ヴォイス性の観点から—

On Sentences with a Predicate Composed of Word-Combinations  
of Sino-Japanese Verbal Nouns with Case-marker  
“wo” and “motarasu” in Japanese : From the Viewpoint of Voice

王 丹 彤 (WANG, Dantong)

1. はじめに
2. 動詞「もたらす」と結合する漢語動名詞
3. 「もたらす」文のヴォイス性
  3. 1. 使役文を構成する「もたらす」
  3. 2. 他動詞文を構成する「もたらす」
4. 対象の表し方
5. 形態論的な他動詞文との比較
  5. 1. 主語の名詞クラス
  5. 2. 「もたらす」文の受動態
6. 評価性
7. おわりに

1. はじめに

村木 (1991) は、ヴォイス的な意味に関わる機能動詞結合<sup>1</sup>を取り上げ、「受動態」「他動使役態」「使役の受動態」「相互態」「基本態」に分けて記述している。「他動使役態<sup>2</sup>」については、動詞「もたらす」を取り上げ、「発展をもたらす、敗北をもたらす、成功をもたらす、動揺をもたらす、変化をもたらす、安定をもたらす、悪化をもたらす、上昇をもたらす、低下をもたらす、混乱をもたらす、地盤沈下をもたらす」という語結合の例を提示している。

<sup>1</sup> 機能動詞結合とは、実質の意味を名詞にあずけて、みずからはもっぱら文法的な機能をはたす動詞と広い意味での動作性（行為・過程・状態・現象）をもつ名詞との語結合である（村木1991：203,204）。

<sup>2</sup> 村木 (1991: 250) は、はたらきかける対象が人であるかどうかによって、使役態（先生が太郎を立てせる）と他動態（太郎が鉛筆を立てる）は連続していると認め、両者を区別せずに合わせて「他動使役態」として捉えている。

- ・「福祉の充実、生活向上のための諸施策が同時に経済の発展をもたらす」(毎日 800128 夕)
- ・実際は、米国の干渉は、結局は、マルコス後継者の敗北を確実にもたらすことになる。(毎日 820507 夕)
- ・氷壁にとりつかれた男たちのハングリー精神が成功をもたらした。(毎日 800522 朝)

(村木 1991:254)

これに対して、言語学研究会編(1983)では、このタイプの語結合を連語と見なして、「事にたいするはたらきかけ/出現のむすびつき」に分類している<sup>3</sup>。こうした語結合が連語(自由結合)であるか否かを判断するための決定的な根拠を筆者は現時点では持ち合わせてはいない。ここでは、「施策が経済に発展をもたらす」という文が「施策が経済を発展させる」のような使役構造の文に言い換えられるということに注目し、これをヴォイスの語彙統語論的な表現手段<sup>4</sup>として追究してみたい。考察には『現代日本語書き言葉均衡コーパス』から収集した用例を使用する。

## 2. 動詞「もたらす」と結合する漢語動名詞

まず、を格をとって動詞「もたらす」と語結合をなす漢語動名詞の範囲を把握するために、実際に収集した語結合に現れる漢語動名詞の『分類語彙表—増補改訂版』における分類項目を調査した。その結果を表1に示す。漢語動名詞のすぐ右に付加した数値は用例数である。

表1 分類語彙表における調査結果

漢語動名詞	語彙表
形成1、対立1、孤立1、確立1	関係/存在/成立
出現2	関係/存在/出没
消滅1	関係/存在/消滅
影響37、作用2	関係/類/因果
欠如1	関係/量/過不足

<sup>3</sup> 「出現のむすびつき」について、言語学研究会編(1983: 67)は「事にたいするはたらきかけをあらゆる連語のなかから、特殊なものとして、出現のむすびつきをあらゆる連語をとりだすことができる。この出現のむすびつきをあらゆる連語でも、かざり名詞がうごきや状態や特徴や関係をしめしているのだが、かざられ動詞はそのうごきや状態などの出現を意味している。したがって、かざり名詞がいいあらゆるものは、ある活動の結果、つくりだされたうごきや状態なのである。」と説明している。実際に挙げられている連語の例は、「変化をもたらす、安定をもたらす、不幸をもたらす」である。

<sup>4</sup> 村木(1991)は、文法的カテゴリーの表現手段について、基本的であると考えられる形態論的な手段の以外、語彙的な手段、語彙統語論的な手段があると指摘した。村木は「みつかる」「つかまる」などの受動動詞が「語彙的」な手続きであり、「なぐられる」「さそわれる」などの派生動詞が「形態論的」な手続きであるのに対して、「批判をあげる」「支援をうける」のような機能動詞結合については「語彙統語論的」な手続きであると指摘している。

混乱10	関係/様相/調和・混乱
転換3	関係/作用/変換・交換
穿孔1、突出1	関係/作用/成形・変形
分裂1、分散1	関係/作用/分割・分裂・分散
分離1	関係/作用/接近・接触・隔離
低下11、衰退5、発展5、向上3、高揚3、展開3、進歩2、進化2、成長2、荒廃2、強化1、発達1	関係/作用/進歩・衰退
偏向1	関係/作用/進行・過程・経由
開放1	関係/作用/開閉・封
開幕1、創成1	関係/作用/開始
崩壊4、破壊4、炸裂1、破滅1	関係/作用/破壊
上昇9、下降1	関係/作用/上がり・下がり
拡大11、拡張4	関係/作用/伸縮
流行1	関係/作用/通過・普及など
統一2、編成1、再編1	関係/作用/統一・組み合わせ
回帰1、交流1	関係/作用/往復
増加17、増大5、減少5、減退2、増収1 急増1、減殺1	関係/作用/増減・補充
破綻3、終結1	関係/作用/終了・中止・停止
変化53、変革12、悪化5、革新4、変動4、改善3、変異2、劣化2、変容2、変更1、変形1、激変1、逆転1、変身1、修正1	関係/作用/作用・変化
成功6	活動/行為/成功・失敗
勝利11、優勝1	活動/交わり/勝敗
繁栄8	活動/経済/貧富
高騰2、昇給1、下落1	活動/経済/価格・費用・給与など
安堵1、安心1、満足1	活動/心/安心・焦燥・満足
予感1	活動/心/感覚
思考1、確信1、思惟1	活動/心/思考・意見・疑い
緊張3	活動/心/心
認識1、理解1、確認1	活動/心/注意・認知・了解
虐待1、迫害1	活動/待遇/待遇
追放1	活動/待遇/人事
殺戮1、虐殺1	自然/生命/死

表1から分かるように、「もたらす」と結合する漢語動名詞の所属は中項目の「作用」(60語)に集中している。特に「関係/作用/作用・変化」(変化、変革、改善、修正、変動、革新など15語)、「関係/作用/進歩・衰退」(低下、発展、衰退、高揚、向上など12語)、「関係/作用/増減・補充」(増

加、増大、減少、減退、急増など7語) という項目に集中している。また、中項目「心」に属する語彙も少なくない(11語)。

分類語彙表の中項目レベル<sup>5</sup>から見ると、表2に示すように、動詞「もたらす」は狭い範囲の漢語動名詞と結合する。「もたらす」と結合する漢語動名詞が分布していない中項目がいくつかある<sup>6</sup>。例えば、「2.16 時間」(経過、推移など)、「2.17 空間」(位置、構成など)、「2.31 言語」(相談、講義など)、「2.32 芸術」(編集、演奏など)、「2.33 生活」(食事、旅行など)、「2.50 自然」(電離、着色など)、「2.52 天地」(自転、公転など) などである。

表2 中項目レベルにおける分布

中項目	異なり語彙数	用例数	中項目	異なり語彙数	用例数	中項目	異なり語彙数	用例数
2.10 真偽	0	0	2.30 心	10	12	2.50 自然	0	0
2.11 類	2	39	2.31 言語	0	0	2.51 物質	0	0
2.12 存在	6	7	2.32 芸術	0	0	2.52 天地	0	0
2.13 様相	1	10	2.33 生活	0	0	2.56 身体	0	0
2.14 力	0	0	2.34 行為	1	6	2.57 生命	2	2
2.15 作用	60	223	2.35 交わり	2	12			
2.16 時間	0	0	2.36 待遇	3	3			
2.17 空間	0	0	2.37 経済	4	12			
2.19 量	1	1	2.38 事業	0	0			

また、人間活動を表現する分類項目についても、「もたらす」と結合する漢語動名詞が分布していない分類項目も多い。例えば「2.30 心/学習・習慣・記憶」(勉強、練習、稽古など)、「2.36 待遇/教育・養成」(教育、指導、訓練など)、「2.37 経済/貸借」(借金、弁済、賠償など)に属する漢語動名詞は「もたらす」と結合しない。

つまり、動詞「もたらす」は人間の動作や自然現象ではなく、基本的には広い意味での変化を表現する漢語動名詞と結合する。これが「もたらす」の語結合が成立するための語彙的な条件となる。

### 3. 「もたらす」文のヴォイス性

現代日本語において、使役文や典型的な他動詞文の主語は人である。しかし、を格の漢語動名詞と動詞「もたらす」の語結合を述部とする文は、人名詞や組織名詞が主語になる用例もわずかなが

<sup>5</sup> 分類語彙表は「類/部門/中項目/分類項目」という四段階に分けている。中項目レベルの2.10~2.19は「抽象的關係(人間や自然のあり方のわく組み)」、2.30~2.38は「人間活動—精神および行為」、2.50~2.57は「自然—自然物および自然現象」を表現する部門として成り立っている。

<sup>6</sup> 「2.10 真偽」という中項目には漢語動名詞が含まれない。

ら見られるが、「ホルモン、環境、戦争、少子化現象、東京オリンピック」のような物名詞や事名詞が主語になるのが基本的である。したがって、「もたらす」の語結合を述部とする文は、他動使役態に対応するとしても、典型的な使役文や対象にたいするはたらきかけを表す他動文になることはなく、基本的に広い意味での因果関係を表す文になる。

以下、調査の結果にもとづいて、「もたらす」文のヴォイス性を記述していくことにするが、ヴォイス性の観点から「もたらす」文には二つのタイプがあるということが重要である。例えば、「IT革命が通信産業に変化をもたらした」のような例は、「IT革命が通信産業を変化させた」という使役構造の文に言い換えられるが、「IT革命が通信産業に革新をもたらした」のような例になると、言い換えられるのは、使役構造ではなく、「IT革命が通信産業を革新する」のような他動構造の文である。それぞれのタイプごとに以下に記述していく。

### 3. 1. 使役文を構成する「もたらす」

最初に取り上げるのは、「変化、低下、混乱、上昇、繁栄、発展、衰退、崩壊、成長、進化、緊張、安心、認識」などの漢語動名詞と「もたらす」の語結合を述部とする文である。このタイプの「もたらす」は因果関係を表す使役文を構成する。例えば、

- 1 補助金が復帰前の基地に代わって、沖縄経済に成長をもたらす最大の起動力として組み込まれた。(太平洋アイデンティティ)

という例では、主語の「補助金」が原因となって「沖縄経済の成長」といった結果（変化）が生じるということが表されている。この点で、この文は、

- 2 それでは、公共投資が経済を成長させる理由を図で説明してみましょう。(どうなってるの！？日本の経済)

のような因果関係を表現する使役文と構造が同じである。ここでは、使役接辞「させる」を用いているものの、実質的には他動構造であると認められる。したがって、こうした「もたらす」の文は他動詞の文に匹敵する意味構造を有すると考えられる。

つまり、このタイプの漢語動名詞においては、「VNする（自動）—VNさせる（他動）」の形態論的なヴォイス対立を構成しているのだが、さらに「VNをもたらす」もまた、他動構造の語彙統語論的な表現手段として「VNさせる」と並ぶ位置にある。

使役構造を構成する「もたらす」文は、基本的に主語に据えられた事柄が、補語に据えられた事柄の変化を引き起こすことを表す。変化する対象は対応する自動詞文の主語、「もたらす」文の補

語になる。

- 3 事実、西洋以外で最も早かった太陽暦採用が日本の近代化に果たした役割は大きかった。しかし同時に、伝統文化や伝統行事に大きな混乱をもたらしたのである。(祝祭日の研究)
- 4 水源施設としてのダムの存在は、河川中・下流部の水利用に大きな変化をもたらした。(水資源政策の失敗)
- 5 これが生物に進化をもたらす「自然選択」のしくみである。(性転換する魚たち)
- 6 この作戦高度の変更はまた、出撃の際の部隊の編成にも変化をもたらした。(第二次大戦のP-61ブラックウイドウ)
- 7 だからこそ、島の人々は三原山のことを「御神火」と呼び、島に繁栄をもたらすものとして敬ってきたのだ。(復活への舞台裏)
- 8 特例としては、中国製品の輸入急増が国内市場に混乱をもたらした場合、加盟国は今後十二年にわたり輸入制限措置(セーフガード)とアンチダンピング規制を発動することができる。(中国の経済)
- 9 そこへ公教育の開始が、読み書きをまったく他人に頼る日本人の数を急速に、しかも相当減少させた。こうした減少は、必然的にどんな社会にも大きな進化をもたらす。(占領下日本の表記改革)

また、使役構造を構成する「もたらす」文は補語が人名詞である例もある。その時、「もたらす」文は主語に据えられた出来事が、補語に据えられた人や組織、団体の内的な状態の変化や知的な動作を引き起こすことや、主語が補語に据えられた組織、団体の目標を実現させることを表す。これらの「VNをもたらす」も「VNさせる」に言い換えられる。

- 10 同時に、アジア周辺諸国にも、米軍の存在が安心をもたらしている面がかなりあると思います。(検証・石原政権待望論)
- 11 「のちの世」を感覚した作者の手は、見えないものと共存する原始的な混沌を引き寄せて、読者の私に不思議な不安と安堵をもたらす。(うたの観覧車)
- 12 公開飛行での失敗は、十人のメンバーに焦りと緊張をもたらし亀裂を生みつつあった。(成功へ退路なき決断)
- 13 患者は営業成績がわるいと、父親に叱られたときの感情がよみがえり、父親に対していたときと同様に、会社に対して申し訳ないといった罪悪感が生じるという。両親との同居は、当然のことなら緊張をもたらし、自宅においてもくつろぐことのできない生活が推測された。(ストレスの事典)

- 14 精神的にひとまわりもふたまわりも大きく成長したベッカムのFKが、イングランドに優勝をもたらす瞬間は、はたしてくるのだろうか。(3時間で自慢できる空想科学サッカー読本)
- 15 ところが、いったん徳川側が優勢とみるや次々に「寝返り」が発生したことが、徳川軍に圧倒的な勝利をもたらしたのである。(悪女と紳士の経済学)
- 16 百円バーガーは、マクドナルドに完璧な勝利をもたらしたのです。(経営がみえる会計)

### 3. 2. 他動詞文を構成する「もたらす」

次に取り上げるのは、「革新、改善、修正、虐殺、影響、作用」などの漢語動名詞と「もたらす」の語結合を述部とする文である。このタイプの「もたらす」は他動詞文を構成する。例えば、

- 17 新たな価値とは、斬新な商品コンセプトや、経営や業務に革新をもたらすイノベーションアイデアだ。(コミュニケーションのノウハウ・ドゥハウ)

という例では、主語の「イノベーションアイデアは経営や業務」が原因となり、結果として、に格補語の「経営や業務」が革新されることを表している。この点で、この文は、

- 18 私は、フランス映画を革新したジャン＝リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー、クロード・シャブロールらヌーベルバーグの作品に強く影響され、それになぞらえて自分を勇気づけた。(異端の資生堂広告/太田和彦の作品)

のような他動詞文と構造が同じである。こうした他動詞文と等しい構造をつくる「VNをもたらす」文は「VNする」に言い換えられる。なお、このタイプの漢語動名詞においては、対応する自動詞構文が存在しないので、自他の対立を構成しない。

他動詞文を構成する「もたらす」は使役文を構成する「もたらす」と同じように、主語に据えられた物事が、補語に据えられた物事の変化を引き起こすことを表すことが基本である。

- 19 また圧電セラミックの発明により、各種点火装置に革新をもたらした。(電子デバイス材料)
- 20 〈サージェント・ペッパーズ〉はロック界に大きな変革をもたらしたと同様、グラフィックデザインの世界にもこのデザインは脱デザインの革命を起こす切っ掛けになった重要な作品ではなかろうかと思う。(ビートルズ日本盤よ、永遠に)
- 21 西暦の初め頃、中国へ、そして極東へと伝播した仏教は、インドの經典『ヴェーダ』と孔子の思想とを一つに編みこみ、アジアに統一をもたらした。(日本の目覚め)



「影響、作用」を用いた「VNをもたらす」も「VNする」に言い換えられる。ただし、「革新」などとは違って、を格ではなく、に格をとる他動詞構造に対応する（「～に作用する」「～に影響する」）。これらの「もたらす」文は主語にさしだされる物や出来事の影響が、補語にさしだされる範囲に及ぶことを表す。

- 22 ミネラルは、ヒトのような動物のみならず、植物にも大きな作用をもたらしている。(いのちと塩)
- 23 経済社会のグローバル化・ボーダレス化が進展する中、福井地域における大手製造業の低生産性構造は、地域経済に重大な影響をもたらすことはいうまでもない。(地域産業発達史)
- 24 この技術革新は除細動のハードウェアのみならず、その使われ方にまで影響をもたらした。(不整脈)

#### 4. 対象の表し方

前節での考察から、「もたらす」文は、基本的に因果関係を表す他動構造の文であり、「もたらす」文の主語が原因となって結果として対象に変化が生じるという意味を表すことが分かった。その変化をこうむる対象は補語の名詞である。

「もたらす」文において、対象を表す名詞は、に格だけではなく、の格をとる場合もあり、用例の数ではむしろ後者の方が多かった（に格が106例であるのに対して、の格は147例である）。以下、の格をとる例を挙げる。

- 25 この小麦の生産量低下は、小麦価格の高騰をもたらし、都市市民の台所を直撃した。(気候変動の文明史)
- 26 多額の借金は家庭の崩壊をもたらすことはよくあることですが、夫のサラ金などからの借金に苦しむ妻が離婚を請求したのに、これを認めなかった珍しい例もあるからです。(うまく別れるための離婚マニュアル)
- 27 ジェット機の発達によって、地球の地理に対する時間的距離は縮まり、電子工学の発展はコンピューターが世界をネットで結び、携帯電話や映像技術の革新をもたらした。(映画は光と影のタイムトラベル)
- 28 しかもこの固さは、二～三日は十分に持続するため、旨さの減殺をもたらすことにもなる。(江戸前鮓仕入覚え書き)

これに対して、以下のような例では、の格をとることができず、に格しかとらない。

- 29 このような番組に興味を持ち、出場させてもらったことは、僕の人生に大きな影響をもたら  
し、なにものにも代えがたい財産となった。(「ウルトラクイズ」はどこにある?)
- 30 とりあえず奥日光の山の暮らしが、愛氏にはよい作用をもたらしていることはたしかのよう  
だ。(日の湖月の森)
- 31 だから今日も、良い小説は読者に思惟をもたらし、勇気や希望を与え、生きる糧となる。(勇  
気凛凛ルリの色-満天の星)
- 32 この判決は、少年は大人と違って保護を受ける権利を持つから、大人なら持つ権利を与えな  
くてもよいという国親思想には疑問があるという認識をアメリカ市民にもたらした。(感化院  
の記憶)

原因が直接的で変化が具体的な場合は、の格が可能になり、原因が間接的で変化が抽象的な場合  
は、の格はとれないという傾向があるようである。

また、対象においてに格との格が競合する場合、人か物事かということが選択に影響するよう  
である。表3に示したように、対象が人である場合は、に格をとる割合が高く、物事の場合は、の格  
をとる割合が高い。

表3 対象におけるに格との格の分布

	対象=人	対象=物事
に格	19 (67.9%)	60 (30.2%)
の格	9 (32.1%)	139 (69.8%)
合計	28	199

それぞれの例を挙げておく。

- 33 ある被塗物の数量を多くつくるということはそれ自体が革命的なことで、その物をつくるた  
めに関連するすべてのシステムに大きな変革をもたらす。(木材の塗装)
- 34 女性との新しい経験は青春時代からの抑圧を緩和するし、変化を僕にもたらすだろう。(リュ  
ウキュウ青年のアイビー留学記)
- 35 能力と地位の喪失、やる気の低下は、サービスの質の低下をもたらす。(ロシア変動の構図)
- 36 しかし、現場では指導者やコーチがあまりに早期にハイレベルの競技成績の達成を望むため  
に、多くの内容において高い強度のトレーニングを行い、選手に適応不能を起こさせるケース  
があるが、このようなトレーニングは不十分な機能回復のプロセスで必要以上の消耗状態を引  
き起こす結果となり、選手の不自然な成長をもたらすと同時に、ときには心身の不健康状態を  
引き起こすことにもなるので、十分な注意が必要である。(ソフトテニスコーチ教本)

## 5. 形態論的な他動詞文との比較

3節で見たように、他動詞構造の語彙統語論的な表現手段としての「もたらす」文は、形態論的な表現手段としての他動詞文に言い換えられる。では、両者は完全に同じ性質をもつかというと、そうではない。以下、主語の名詞クラスと受動態との関係に関する両者の差異を見ていく。

### 5. 1. 主語の名詞クラス

他動詞構造の形態論的な表現手段（他動詞文）では、人を表す名詞が主語になるのが基本である。これに対して、語彙統語論的な表現手段の「もたらす」文の主語は物名詞や出来事名詞がほとんどである。これが「もたらす」文と一般的な他動詞文との最も顕著な違いである。つまり、「もたらす」文は因果関係を表す。

しかし、「もたらす」文にも人名詞や組織名詞を主語とする例もわずかながらある。そうした例では、人名詞や組織名詞が直接原因になっているわけではなく、人や組織が行ったことが原因となっている。次の例のように、人や組織が行ったことは、当該文や前後の文脈の中に表現されている（波下線部）。

37 もちろん新しい土地で仕事をする難しさもあり、成功せずに再び出身地などに戻る人も見込まれるものの、二千十年には数千人のIT技術者が、北海道に新たな仕事を持ち込み、雇用の創出や消費の拡大をもたらす可能性も出てくる。（北海道IT革命）

38 十九世紀の通信に革命的变化をもたらしたのは、千八百三十二年に電信を発明したサミュエル・F・B・モースと千八百七十六年に電話を発明したアレグザンダー・グレアム・ベル（元来はスコットランド人）である。（アメリカ史）

39 彼の息子たちはいずれも優秀で、中でも技術者として優れていた三男は、金属フレームを開発するなど、ピアノの構造や製造面で数多くの新機軸を打ち立てました。このためスタインウェイは現在百を越える特許を持ち、ピアノ造りに大きな変革をもたらしました。（旅する視点）

一方、人や組織を主語とする典型的な他動文では、働きかけは直接的である。そうした典型的な他動詞文は、「もたらす」文には言い換えられない。

40 しかし、彼らが関心をもっている『構造』を変化させるには、短期間の集中訓練はもとより効果的であり得ない。（「個の理解」をめざす発達研究）

41 夢窓はどんどん五山内の勢力を拡大して行く。（鉄鼠の檻）

42 彼は、「私は古くからの共和主義者である」、「私は自分が国民の味方であることを表明する」と述べながらも、国民がその境遇を変革しようとする願望が野蛮な感性に陥ることを批判し、

暴力と殺戮の恐怖や不安を惹起する無政府状態や、自由と平等が歪小化された扇動に乗って狂う国民には賛成しない。(ペスタロッチと人権)

「迫害、追放、虐殺、虐待、殺戮」などのような漢語動名詞では、これらを構成要素とするサ変動詞を用いた他動詞文(例43~45)では、人が主語になり、直接的な働きかけを表し、「もたらす」文(例46、例47)では、物事が主語になり、因果関係を表す。そのため、両者は置き換えられない。

43 このときヨーロッパ人は、女性や子どもを含むエルサレムの人びとを大量に虐殺して、みずからの信仰の勝利を祝っています。(東アジアと中世ヨーロッパ)

44 結局、第二代将軍秀忠は同年七月の鎖国令でポルトガル人を追放した。(勝ち組が消した開国の真実)

45 なぜ親は子どもを虐待するのか。(日本の危機)

46 精神的な病気は夫婦3組に1組の割合で起き、それが男性虐待者(夫)の攻撃的行動の原因の1つとなっている。また、痴呆それ自体が虐待をもたらすことを明示している研究はない。(世界の高齢者虐待防止プログラム)

47 異教徒の社会に暮らしながらその社会の宗教を受け入れないという姿勢は、ユダヤ人に迫害や追放や虐殺をもたらした。

物や出来事が主語になる場合には、他動詞文(例48~51)と「もたらす」文(例52~55)は、いずれも広い意味での因果関係を表現するので、言い換えることができ、大きな違いは見られない。

48 工業化段階での流通システムは、このような課業条件に対応するため、その経路構造を変化させる。(流通原理)

49 このような海外生産によるマーケットの制覇は、自国の産業の空洞化を生み、また生産国の経済を混乱させるからです。(社長の不安をズバリ解消する民事再生の実務)

50 その後、十八世紀中期に欧州で始まった産業革命は、生産性を飛躍的に上昇させると同時に、過酷な労働条件とそれに起因した健康問題を生みだした。(新簡明衛生公衆衛生)

51 影響を受けたものは、恐怖表にしたがって、具体的な効果を定めてください。この呪文は効果を拡大することができます。(ソード・ワールドRPGベーシック)

52 未来の世界経済の栄枯盛衰が台湾の経済に良い影響、悪い影響を与えるかは別として、台湾小売業のショッピングモール化と週休二日制の導入は、台湾小売市場の環境に大きな変化をもたらすであろう。(台湾の流通事情)

53 上海のこのような労働者ゼネスト状況は、近隣の農村人民公社にも直接的影響としての混乱

もたらさざるをえず、農民たちは公社の耕地を見捨て、国有財産と都市への補給農産物を放棄して、それらの自己確保と横領へと走った。(レーニン、毛、終わった)

54 その結果、家庭生活に多大な影響が及ぼされることなど、まったく念頭にないのが、日本の経営者たちであった。その一方で、企業の成長は、賃金の上昇をもたらし、物質的な豊かさにつながるのだから、多くの妻たちは現状に不満はない。(日本の住まい変わる家族)

55 北朝鮮が二千二年七月に始めた経済改革では「経済的実利主義」が強調された。これを重視する雰囲気は社会全体に広がり、物価の大幅な上昇や貧富の差の拡大をもたらしたといわれる。(はるかなる隣人)

## 5. 2. 「もたらす」文の受動態

続いて、「もたらす」文の受動態について見る。「もたらす」文は他動構造の文であるから、一般的な他動詞文と同様に、「もたらす(能動) — もたらされる(受動)」のヴォイス対立を構成する。ただし、受動態をめぐって、「もたらす」文と他動詞文には明らかな違いが見られる。

まず、「もたらす」文の受動態の主語になるのは、漢語動名詞である。

56 システムとしての家族に焦点を当て、複数の専門職からの圧力により、家族の防衛がくずれ、変化がもたらされる。(子ども虐待)

57 資産及び負債の再評価又は修正表示によって、持分の増加又は減少がもたらされる。(国際会計基準書)

58 その漁獲は、原則として排他的経済水域の内側においてのみ可能とし、母川国が漁獲・規制措置を定めることとした(同六十六条2項)。ただし、母川国以外の国に経済的混乱がもたらされる場合には、関係国の協議によって定めた漁獲条件によって排他的経済水域の外側での漁獲が認められる(同六十六条3項)。(導入対話による国際法講義)

59 私たちの勝利は、自らをくり返しくり返し、頭の上から足の先まで全部ささげることによってもたらされるのです。(日ごと新たに)

これに対して、他動詞文の受動態の主語は能動態の補語である。

60 長州とそのシンパ諸国からの脱走浮浪の徒によって、京都は、混乱させられた。(龍馬暗殺)

61 つまり五百年かけてこの民族は、かなり大幅に変化させられたのだ。(留学の愉しみ)

62 翌十二年五月九日の官制改正で助手定員が十八名に増加され、当初計画にあった鑄物部を廃足させ、同年五月十六日に鉄鋼学講座は三講座となり、新規定員の教授三名、助教授八名は金研所員を兼務した。(科学と国家と宗教)

## 6. 評価性

「もたらす」文には良い事態を引き起こす場合と悪い事態を引き起こす場合がある。いずれとも言えない場合もあるが、明らかに良い、明らかに悪い事態をもたらすことを表す例をカウントすると、表4のようになる。

表4 「もたらす」文の評価性

	用例数	割合
良い	145	44.3%
悪い	117	35.8%
中立	65	19.9%
全体の用例数	327	100.0%

表4に示したように、「もたらす」文の8割以上は、明らかに良い、または悪い事態を表している。それぞれ二例ずつ挙げておく。

- 63 グローバル化の影響は巨大である。世界経済の成長の角度から言えば、それは新しい発展のチャンスをもたらし、グローバルな経済に新たな繁栄をもたらす可能性を持つ。（日中関係をどう構築するか）
- 64 すなわちACE阻害薬は左室内腔サイズの減少、左室内圧の低下、梗塞部位膨張のリスク低減、および左室形状の改善など心室再構築の改善をもたらし、患者の慢性予後を改善させるとされている。（疾患からみた臨床薬理学）
- 65 つまり、このような戦略では、本来望ましいはずの潜在GDPの拡大が、単にマクロ的状況の悪化をもたらしてしまうことになるのである。（構造改革論の誤解）
- 66 上海のこのような労働者ゼネスト状況は、近隣の農村人民公社にも直接的影響としての混乱をもたらさざるをえず、農民たちは公社の耕地を見捨て、国有財産と都市への補給農産物を放棄して、それらの自己確保と横領へと走った。（レーニン、毛、終わった）

## 7. おわりに

以上、本稿では、を格の漢語動名詞と動詞「もたらす」の語結合を述部とする文を語彙統語論的なヴォイス表現と認め、用例調査にもとづいて、ヴォイス性の観点から考察した。

その結果、語彙統語論的なヴォイス表現としての「もたらす」文は、他動構造をとり、基本的に因果関係を表現することが分かった。「もたらす」文には、使役文を構成するタイプと他動詞文を構成するタイプがあること、対象の表し方、競合する他動詞文との違い、評価性の特徴についても明らかにすることができた。

<参考文献>

- 工藤真由美 (1990) 「現代日本語の受動文」 言語学研究会編『ことばの科学4』 むぎ書房
- 言語学研究会編 (1983) 『日本語文法・連語論 (資料編)』 むぎ書房
- 国立国語研究所編 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』 大日本図書
- 佐藤里美 (1986) 「使役構造の文—人間の人間にたいするはたらきかけを表現するばあい—」 言語学研究会編『ことばの科学1』 むぎ書房
- 佐藤里美 (1990) 「使役構造の文 (2) 因果関係を表現するばあい」 言語学研究会編『ことばの科学4』 むぎ書房
- 須賀一好 早津恵美子編『日本語研究資料集 第1期第8巻 動詞の自他』 ひつじ書房
- 仁田義雄編 (1991) 『日本語のヴォイスと他動性』 くろしお出版
- 早津恵美子 (2016) 『現代日本語の使役文』 ひつじ書房
- 村木新次郎 (1991) 『日本語動詞の諸相』 ひつじ書房